

議会だより



新年のご挨拶

山ノ内町議会議員 山本光俊

新年あけましておめでとうございませす。皆様におかれましては穏やかな新春を迎えられたこととお慶び申し上げます。平素は町議会に対し、格別なるご支援・ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、昨年5月より新たな年号になり、6月から第18代議会がスタートしました。令和元年は様々な出来事があり私たちを取り巻く環境は大きく変わろうとしていると感じずにはいられません。外国人旅行者は年々増加をしており、今後も増加が見込まれ、当町もさらなる国際化や受け入れの基盤整備が求められております。国内外からただ大勢のお客様にお越しただければ良いのではなく、満足してお帰りいただき、また来たいと思っただけの環境づくりこそ一番重要な観光地のあり方だと考えております。



不足、労働力不足、少子高齢化、子育て支援、学校教育の充実など、課題が多くあります。当然、議会としても様々な課題の解決に尽力して参りたいと思っておりますが、安易な忖度や行動は避けなければなりません。身勝手な解釈や越権行為を戒め、議会として、地方公共団体としての具体的政策を最終的に決定すること、行財政の運営や事務処理ないし事業の実施がすべて適法・適正に、しかも公平・効率的に、そして民主的になされているかどうかを監視するという議会の使命を遵守し、議員としてどうあるべきか、その本質を見定め、さらなる議会活動の充実をはかり、町民の皆様の幸せと町の発展・社会福祉の充実のため、議会の職責を果たして参る所存です。

結びに令和2年が皆様にとって良い年となります様心よりご祈念申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。

令和元年 第6回 定例会

台風19号災害復旧に係る補正 8750万円

令和元年第6回議会定例会は、11月29日から12月13日までの15日間にわたり開催されました。

町側からは、専決処分の報告2件、専決処分の承認1件、条例の一部改正5件、人事院勧告にともない人件費分の補正が必要となった一般会計ほか6会計の補正予算案11件、工事変更請負契約締結1件、買取契約の締結1件、町道路線の認定1件、人事案件1件が提案され、条例の一部改正1件（継続審査）を除き受理、可決、承認、認定、同意しました。

議会側からは、議員の期末手当に関する条例の一部改正について提案し、可決しました。

第119号
令和2年1月23日(2020)
発行 山ノ内町議会
責任者 議長 山本 光俊
編集 広報常任委員会

〒381-0498 長野県下高井郡山ノ内町大字平穏3352-1
☎0269-33-1101
E-mail gikai@town.yamanouchi.lg.jp

議会ホームページと
議会フェイスブックは
町ホームページからアクセス

山ノ内町議会 facebook [ここをクリック](#)

もくじ

- 新年のご挨拶……………20
- 令和元年第6回定例会関連記事……………20
- 令和2年第1回臨時議会関連記事……………21
- 一般質問……………22
- 常任委員会管外視察報告……………34
- 陳情・議会全員協議会……………36
- みんなのひろば・編集後記……………37

専決処分の承認
一般会計補正予算
(第3号)

一般会計補正予算
(第5号)

<p>台風19号の対応に係る補正予算で、歳入歳出それぞれ8803万円を追加し、予算総額を75億4116万円とするものです。</p> <p>＜歳入の主なもの＞</p> <ul style="list-style-type: none"> 財政調整基金繰入金 2068万円 町債（災害復旧債） 6690万円 負担金 45万円 <p>＜歳出の主なもの＞</p> <ul style="list-style-type: none"> 農林水産施設災害復旧費 4020万円 公共土木施設災害復旧費 4729万円 	<p>歳入歳出それぞれ5097万円を追加し、予算総額を75億9807万円とするものです。</p> <p>＜歳入の主なもの＞</p> <ul style="list-style-type: none"> 県補助金 206万円 国庫負担金（補装具給付） 64万円 県負担金（補装具給付） 32万円 財政調整基金繰入金 ▲1億8051万円 繰越金（確定による） 2億2262万円 雑収入（交付金分配確定で） 535万円 <p>＜歳出の主なもの＞</p> <ul style="list-style-type: none"> 心身障害者等福祉費 1478万円 塵芥・し尿処理費 1797万円 商工振興費等 1455万円
---	--

条例の一部改正

理事者・議員の 期末手当0.05月アップ

一般職の職員の
給与に関する条例

人事院勧告にともなう給与と手当の増額改定です。全体での影響額は594万円となります。

職員の分限に関する
職員の旅費に関する
条例

成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等をはかるための関係法律の整備に関する法律が、公布され、地方公務員法の一部が改正されたことにもない、所要の規定の整備をしました。

印鑑の登録及び
証明に関する条例

更に慎重な審査を必要とするため、継続審査としました。

特別職の職員の
給与に関する条例

人事院勧告にともなう改定です。理事者（町長、副町長、教育長）の期末手当を年0.05月増額します。31年4月1日に遡って適用します。

議会の議員の期末
手当に関する条例

人事院勧告にともなう改定です。期末手当を年0.05月増額します。ただし、31年4月1日に遡ることは辞退し、2年4月1日からの適用としました。

町道路線の認定

東部浄水場の建設にともない、農道部分443mを町道に編入するものです。（路線名 大柳5号線）

工事請負契約の
変更
旧北小学校解体工事

産業廃棄物処分量（コンクリート塊等）の変更増及び現場精査による変更で、総額税込1029万円の増額（変更前）7529万円（変更後）8558万円

町営住宅長寿命
化型改善事業改
善箇所買取契約
の締結

・買取改善箇所 1棟4戸
・買取額税込 3154万円

人事案件

教育委員会委員の任命
に同意

岩本 繁樹

（46歳・苗間）

任期 元年12月21日から
5年12月20日まで
（任期満了による再任）

令和2年第1回議会臨時会は、1月9日に開催されました。町側からは、国の災害査定が一部完了し、事業費が一部決定したことによる一般会計補正予算案（第6号）、永世名誉町民の称号の贈呈が提案され、いずれも全会一致で可決しました。

令和2年 第1回臨時議会 災害査定一部完了による補正 補正額 1億5235万円

〈歳入の主なもの〉

国庫負担金 5241万円
県補助金 2910万円
財政調整基金繰入金 1947万円
町債（災害復旧債） 5130万円

〈歳出の主なもの〉

農林水産施設災害復旧費 5994万円
公共土木施設災害復旧費 8998万円
消防費（防災マップ） 127万円

永世名誉町民 の称号の贈呈

故 蟻川浩雄氏（享年93歳 令和元年12月4日逝去）におかれては、町立図書館建設基金として昭和56年から平成4までの間多額の寄附をされ、この功績が認められ、平成4年6月山ノ内町名誉町民に選定されました。以降も整備資金として毎年多額の寄附をいただきました。児童生徒をはじめ町民の学習の場として、文化のたより高いひとづくりの礎を築かれた功績は顕著であり、後世にわたり顕彰するものです。



町立蟻川図書館外観



館内

ズバリここが知りたい

論戦 台風19号災害、有害鳥獣対策、子育て支援 など

12月3日、4日、6日の3日間にわたり行われました。

一般質問とは、住民から重大な期待と関心を持たれる大事な議員活動です。議員がその市町村の行政全般にわたって、執行機関の疑問点をただし、所信の表明を求めるものです。議員主導による政策議論であることから、執行機関も十分な準備が必要となるため事前通告を行います。

質問者1人の質問時間は25分です（答弁を含めて概ね1時間）。

今議会の登壇議員は11人、傍聴者は42人でした（大勢の傍聴をお待ちしています）。

①	 徳竹 栄子	<ul style="list-style-type: none"> ・台風19号を教訓とした防災の取り組みについて ・台風19号が観光産業に及ぼした影響と対策について ・高齢者の福祉サービスについて ・有害鳥獣対策について
②	 渡辺 正男	<ul style="list-style-type: none"> ・台風19号災害の教訓をどう今後に生かしていくか ・国民健康保険特別会計の運営状況と今後の見通しは ・子どもが「中心」の教育行政を
③	 白鳥 金次	<ul style="list-style-type: none"> ・台風19号における危機管理対応について ・災害被害の状況について ・松くい虫被害対策について
④	 西 宗亮	<ul style="list-style-type: none"> ・農業を鳥獣被害から守るために ・災害に強いまちづくりについて ・町内循環バスについて
⑤	 望月 貞明	<ul style="list-style-type: none"> ・台風19号災害と接近時の危機管理について ・福祉施策について ・公共工事施策について ・鉄・陸路の玄関口の活用と整備について
⑥	 小林 央	<ul style="list-style-type: none"> ・観光大使の活用について ・志賀高原ユネスコエコパーク（BR）への取り組みについて ・この町を知らせる宣伝活動について
⑦	 布施谷裕泉	<ul style="list-style-type: none"> ・第6次総合計画策定に向けて ・学習及び子育て環境の充実に向けて ・災害対応について
⑧	 高山 祐一	<ul style="list-style-type: none"> ・安心安全のまちづくりについて ・子育て、子ども支援について ・「福祉のまちづくり」について
⑨	 湯本 晴彦	<ul style="list-style-type: none"> ・湯田中温泉公園について ・10年後の山ノ内町の姿について ・独自の教育について
⑩	 山本 岩雄	<ul style="list-style-type: none"> ・教育大綱について ・台風災害への対応について ・象山公園の整備について ・インフラ（上水道）整備について ・戸別受信機の交換対応の実態は
⑪	 小林 克彦	<ul style="list-style-type: none"> ・第5次総合計画の目標達成度について ・自然災害の防災・減災の取り組みについて ・林道下須池の平線の所管替えについて

台風19号を教訓とした防災の取り組みは

町長—教訓や課題が見えた 万全な対応が必要だ

有効な情報伝達は

質問 情報伝達、SUGUメール登録の義務化を。

危機管理室長 一番有効な情報伝達方法はSUGUメール。地域に出向き登録の講習する必要性を感じる。

戸別受信機の普及を

質問 高齢者世帯へ戸別受信機の設置の配慮を。

危機管理室長 災害弱者の戸別受信機設置調査をする。

避難所開設については

質問 戸締めされた乗廻・落合・沓野等の地区避難所へ自主避難した状況。今後自主防災組織と取り決めが必要と考えるが。

危機管理室長 町と自主防災組織のあり方、役割分担等の調整はできていない。今後の課題ではと考える。

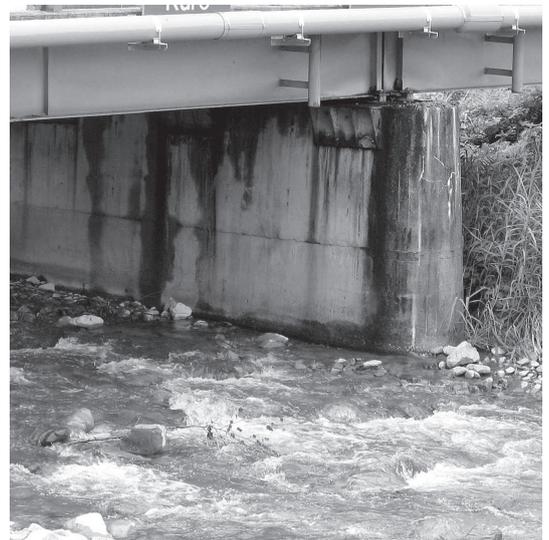


とくたけ えいこ
徳竹 栄子

※ 角間川流域協議会：角間川（夜間瀬川）流域について、治水・利水対策等の実現に向け住民と行政がともに考える協議会。構成は募集された住民（会員）・県・中野市長・山ノ内町長等（H16年3月からH19年8月まで計16回開催された）。

最近の自然災害を見ると、頻繁に「想定外の出来事が起きてしまった」と簡単に使われる。想定のみは危険だ。

徳竹栄子のつぶやき



夜間瀬川の氾濫危険水位は1.8m

横湯川上流落合地籍地すべりの安全確認は

建設水道課長 県が観測機器を設置し地すべりの変動を観測し発生、前兆の通報が町に連絡される。台風19号の観測データの変動はなく地すべり等の影響はない。

質問 角間川流域協議会の質問で横湯川へ一気に流出することは想定していない

と県の答弁、想定外もある。住民、観光客を守る対策を。

町長 砂防100周年シンポジウムも開催され、国、県も重要視している。気象庁、県と連携を密にし安心、安全を基本に対応していく。

観光事業者への災害支援策は

質問 国が宿泊料金割引補助する「ふじこ割事業」

は、県内外の多くの観光地が対象となる。その中からお客様に当町が選ばれるようPRが必要と考えるが。

観光商工課長 信州キャンペーンの中でプロモーション事業を行う予定で検討中。

質問 町独自の特典サービスやNEXCO東日本の高速料金割引等多数のサービスを解かりやすく告知、宣伝の取り組みを。

町長 プロモーション事業とともにNEXCO東日本と割引内容・各サービスエリアでのPRについて話し合いをしたい。

高齢者全員に入浴・福祉乗物券を

質問 団体加盟者に限り1000円温泉施設利用券給付はなぜか。

健康福祉課長 老人クラブ

がなく、代りに地域団体に補助を継続している。

個人への支援は予定がない。

質問 高齢者保健福祉計画では高齢者が平等にサービスが受けられると考えるが。

町長 要望を尊重するが、ルールを設け対応していく。

有害鳥獣対策は

質問 電柵の適切な維持管理が100%の防除効果を上げる。設置者に指導する考えは。

農林課長 電柵組合の方々

と意見交換した。管理の共通認識や課題解決をはかる会合等必要と感じている。

質問 電気柵には緩衝帯は対策の土台であるとのこと。

農林課長 現在はない。今後長期的な支援制度が必要ではないかと感じている。

国保会計への法定外繰り入れの考えは

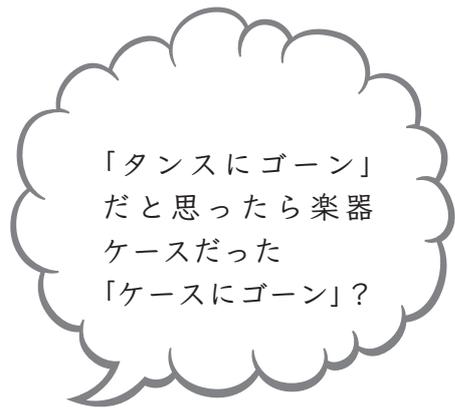
町長—住民福祉、健康増進など総合的に考えていく



わたなべ まさお
渡辺 正男

※1 法定外繰り入れ：繰り入れとは、二つの会計間で予算を移動すること。法令を根拠にしたものを法定繰り入れ、そうでないものを法定外繰り入れという。国保会計での法定外繰り入れは、主に高い保険税を軽減するためにおこなわれる。

※2 事業費納付金：平成30年度から市町村とともに県が国民健康保険の保険者となり、市町村から事業費納付金を徴収するとともに、市町村が医療費等の支払いに必要な額を県から市町村へ交付することとなった。県が県全体の医療費を見込み、各市町村の所得水準や被保険者数、医療費水準等に応じて、市町村ごとの納付金を算定する。



「ダンスにゴー」
だと思ったら楽器
ケースだった
「ケースにゴー」?

渡辺正男のつぶやき

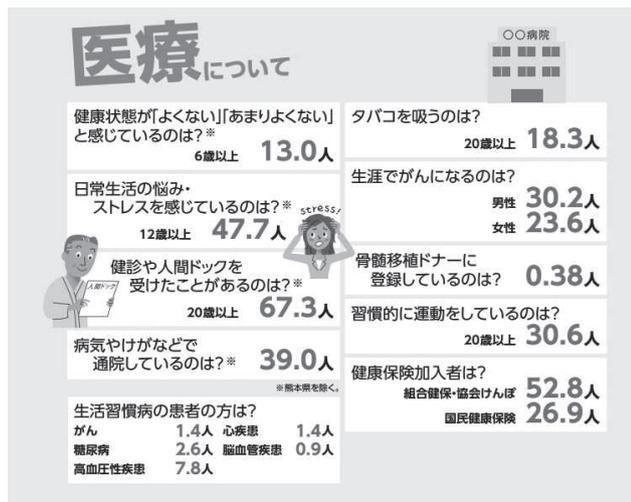
**医療費は県下48位
保険税は県下9位**

質問 国民健康保険特別会計の医療費の状況は。

健康福祉課長 9月診療分までの状況で言うと、前年対比91・6%で8・4%の減となっている。

質問 来年度の事業費納付金と保険税の見込みは。

健康福祉課長 県において係数による納付金の試算が11月下旬に示され、約4億3000万円だった。昨年度の状況から、決定額とは2%程度の変動があると思われる。保険税についてはこれから検討する。



厚生省「人口100人でみた日本」(平成30年)より

質問 1人当たりの医療費と保険税の県下順位は。

健康福祉課長 医療費は30年度の暫定値で34万341円50銭。

2円になり、77市町村中48位。保険税は29年度10万6412円で同じく9位とな

質問 30年度の医療費は大幅に上がったが、保険税は相変わらず高い位置にある。県が示した標準税率で計算した保険税総額と、町の現行税率で計算した場合の比較は。

健康福祉課長 承知していませんが、来年度の保険税額は、その分も踏まえて今後検討していく。

長野市は8.5億円の法定外繰り入れ

質問 長野市の国民健康保険は、予算規模で山ノ内町のほぼ20倍で計算しやすいということと比較してみた。長野市は令和元年度348億円の歳入総額に対して保険料額が65・9億円で、歳入に占める割合は18・9%。当町は歳入総額17億2700万円に対し、保険料額は3億8500万円、歳入に占める割合は22・3%となっている。仮に長野市の率で計算すると、当町の全被保険者の負担は、約6000万円も高いということになる。この理由は、当町が30年度から止めてしまった法定外繰り入れを長野市は8億5100万円も見込んでいることにある。どう考えるか。

健康福祉課長 地域格差もあると思うが、法定外繰り

入れについては、国の方針を守っていくべきと考える。

質問 長野市も実施しているのとおり、違法でもなければ罰則もない。保険税値上げのたびに半分は一般会計から補填すると言ってきたことに照らして約束違反ではないか。

町長 国の方針が「好ましくない」ということなので、その方針に従っている。長野市の財政力とは差がある。住民福祉充実やその利用者の負担軽減、できるだけ医療にかからなくてもいいように健康増進事業を進めるなど、総合的に考えていき

台風19号においての危機管理対応は

町長—災害対策本部を設置し、それぞれに対応した

町長 10月11日の前日、理事者及び各課等の課長による予防対策会議を開催し、情報の収集と共有をはかることも、予報では相当規模の影響をもたらすことが想定されていたことから、10月12日の正午に災害対策警戒本部を設置し、警戒レベル3相当となった段階で、私自身も横湯川・角間川・夜間瀬川・伊沢川・泡貝川の水位や現状を確認し、災害対策本部に臨み、各課等の情報収集及び情報発信、町内の巡回や、避難所開設の準備、消防団の出勤準備などの指示を行い、それぞれに対応した。

質問 福祉センターに避難所を増設した経緯は。

健康福祉課長 避難所開設については、本部の指示により当初3か所開設をしたが、避難された方のなか



台風19号の猛威 伊沢川：佐野

に、体の不自由な方がおられたので、急遽、福祉センターに福祉避難所を開設して、移動していただいた。

質問 災害時要援護者支援

対策マニュアルの整備進捗状況は。

危機管理室長 まず要援護者の方の抽出を行っている。高齢者世帯であっても、9

月議会でも申し上げたが、現在十分一人で移動できる方もおられるし、支援をしなければ移動・避難できない方もおられるので、今そのところのくくりから、支援の必要な方の把握に時間を要しているのも、もうじき完成すると思っている。できるだけ早いうちに作成したいと考えている。

質問 災害被災箇所の復旧事業計画について。

農林課長 豪雨災害補助事業に持ち込めた林道の4路線については、国の査定の完了が今月の13日なので、年明けの臨時議会に諮る。

農林課長 過去に小規模の被害が確認されたが、その後、拡大が見られていない状況を見注視している。防除対策については、伐倒、燻蒸による駆除を考えている。

建設課長 道路、河川については、現在、国の査定を

松くい虫被害に
どう取り組むか

総務課長 国・県の支援を受けなければ、町単だけでは事業ができない。国の激甚災害指定も受けているので、国・県の有利な補助金・交付金等を活用することで、事業費を今現在取りまわしている。



しろとり きんじ
白鳥 金次

※1 災害時要援護者：高齢者、障害者、乳幼児、妊婦、傷病者、日本語が不自由な外国人といった災害時に自力で避難することが困難な人のこと。

※2 激甚災害指定：「著しく激甚である災害」が発生し、被災者や被災地域に助成や財政援助を特に必要とする場合に、「激甚災害に対処するための特別の財政援助等に関する法律」を適用し指定すること。

一年の計は元旦にあり
一生の計は勤にあり
一家の計は身にあり
何事も最初が肝心
健康維持

白鳥金次のつぶやき

農業を鳥獣被害から守るために



にし そうすけ
西 宗亮

町長—いろいろな方策を講じ対応していく

恒久電柵へ 更新促進支援を

【質問】 果樹を中心とした鳥獣被害防止策として、どのような施策を講じているか。

【農林課長】 電気柵による侵入防止のほかワナ、オリの設置、鳥の被害では猟友会のみなさまに定期駆除をしていただいている。

【質問】 近年、二ホンシカによる被害が非常に多くなっている。有効な食い止め策についてはどのように考えるか。

【農林課長】 冬期間でも設置したままでよい恒久電柵も有効なひとつと思う。



鳥獣被害防止がより期待できるために恒久電柵への更新や設置に手厚い支援を望む（上条地区）

【質問】 常任委員会で管外視察に行った黒部市では複数人数での有害鳥獣対策係を

新設したり恒久電柵更新の手厚い支援を検討している。当町ももっと積極的に取り

組んでいくべきと考えるが、**【農林課長】** 電柵設置から7年が経過すると再度交付が可能である有害鳥獣総合対策交付金があり、地元担当金も含めてご理解いただきながら進めていきたい。

【町長】 現在の職員一人での対応は大変だと思っている。課内の協力体制や組織的な協力体制も考えていかなければいけない。

災害に強いまち づくりについて

【質問】 大切な情報や緊急伝達の手段のひとつとしてある「SUGUMERL」は大変多くの情報を受信するが、

着信音はすべて同じであり、緊急か否かの判断ができない。火災や緊急情報など力

テゴリー別に着信音を変える必要があると思うが。

【危機管理室長】 今のシステム上ではできないと思われるが、システムの改修を言めて検討したい。

【質問】 災害に強い町、安心安全な町づくりに向けては町民の危機管理意識と自分の命は自ら守り、避難に対する日ごろからの心構えこそが最も大切だと思う。そのため町はきめ細かな地域ごとへの啓発と連携が必要ではないか。

【町長】 自主防災組織を中心とし、地域における相互協力のもと迅速で安全な行動をとることが必要。町でも

国・県などが発信する情報収集に努め、迅速な対応に努めていく。

町内循環バスについて

【質問】 乗ちんバスの利用人数の減少状況など今後の運営に厳しいものを感じざるを得ない。町内循環バスやできる限り制度の拡大解釈などで利用人数を増やし、町民にとって利用しやすく持続可能な公共の交通機関へと更に研究、努力を望む。

【町長】 現状の制約の中でどうすればいいのかという調査研究とそれを含めて、公共交通会議の中で町内営業会社との調整も必要になるので十分研究していきたい。

月や火星に行けなくとも地震を予知したり、台風の進路をそらすほうを先に研究してほしいなあ！

西 宗亮のつぶやき

自動車急発進防止装置の補助は

町長—情勢を見ながら検討したい

【質問】 7月から高齢者の事故防止策で運転免許返納者に福祉乗り物券が給付されているが何名に給付か。

健康福祉課長 17名。

【質問】 農家にはこの免許返納特典は「車がないと畑にも行けない」と不評だ。高齢者運転事故防止にブレーキとアクセルの踏み間違い防止装置の装着補助は。

町長 他市町村や国県の動きを見ながら高齢者が外出できる方策を考えたい。

プレミアム商品の券の状況は

【質問】 10月1日開始の幼児子育て世帯と住民税非課税者のプレミアム付商品券の購入申請状況は。

健康福祉課長 非課税対象者は2786人で申請は682人。なお、子育て世帯

三面コンクリートと崩れた石積(手前)



【質問】 187人分は申請が不要。申請者が少ないと思う。購入促進策は。

健康福祉課長 申請期間を延長し柔軟に対応する。

湯田中駅トイレの洋式化は

【質問】 町の铁路玄関口である湯田中駅前の公衆トイレ(女子)の完全洋式化は。

町長 女子トイレは2つの

台風19号で崩れた寒沢川の護岸



内ひとつは和式。町と長野電鉄が折半で負担して管理。来年度洋式化する予定。

地区防災計画の策定を

【質問】 昭和57年豪雨で寒沢川、三沢川の護岸改修は虫

や魚が棲めない三面張り工法を採用。その経緯は。
建設水道課長 当時、最善の方法を採ったと推察する。

【質問】 台風19号では三面張りは堅固であるが流速が早く、従来の護岸が大きく崩れた。虫が棲めて強靱な護岸の復旧を要望したい。

台風19号避難者の居住地を見ると地域により防災意識に差が見られる。町には土砂災害警戒区域が多いが、ここからの避難者は少ない。下呂市のある地区は昨年の西日本豪雨で全員避難できなかった。理由は地区防災計画策定で喚起された住民の防災意識向上にある。

危機管理室長 町の17自主防災組織の中には防災計画を策定した地区もある。全ての地区が防災計画を策定できるように支援したい。

【質問】 今回、気象庁の情報で南小学校に避難しようとした人がいた。佐野以外の南部住民で佐野人材センター

に避難しようと考えた人は少ない。水害時の一次避難所を防災マップに記載は。危険管理室長 避難所は災害状況を見て開設したい。

人材確保に工事の平準化は

【質問】 災害等に備え、建設業の人材確保が必要。季節や時期により変動がある公共工事の平準化の考えは。

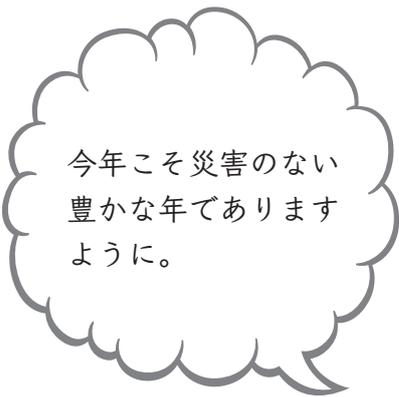
建設水道課長 災害復旧工事は平準化して遅延させられない。年度をまたぐ工事は計画段階で検討したい。

債務負担行為の考え方は

総務課長 単年度で終わる工事を2年に延ばし平準化するような予算措置は認められない。



もちづき さだあき
望月 貞明



今年こそ災害のない豊かな年でありますように。

望月貞明のつぶやき

ユネスコエコパーク(BR)活動の推進はこの町の使命

町長—環境の時代であり、それぞれの分野で着実に進めていく



こばやし ひろし
小林 央

※ESG：企業が長期的に成長するかを評価する3要素。環境、社会、企業統治への取り組みがどう行われているかで評価される。

BRへの取り組みは着実か

質問 環境破壊が地球温暖化を招き自然災害が多発している。「自然と人間社会の共生」という理念を持つBRの活動は、この町全体で取り組むにふさわしい、価値あるテーマと考えるが、着実に進展しているか。

町長 副町長をユネスコエコパーク推進監に任命することともに、推進室を設置、専任職員を配置するなど着実に進めている。

質問 BRの将来像は文部科学省にも無く、山ノ内町が先頭に立つてこの活動を進めていくしかない。町と関係があり、環境や医学等で最先端の知識を持った先

生方で専門家会議のようなものを定期的に関き、議論

する場の設定などできないか。



銀座NAGANOでは1/77。サバタケ缶、今日は柱の陰。

観光商工課長 何人かの先生方にアドバイザーとして会議等には参加していただいている。

質問 イオン財団との連携が始まったようだが大企業ではSDGsとかESGへの対応の動きが活発化している。積極的な接触も必要と考えるが。

観光商工課長 企業の福利厚生事業として環境学習プログラムを活用できないか旅行社にお願いしている。

質問 足立区が行っている山ノ内町への自然体験ツアーが好評だと聞いた。協力し進めてほしい。

観光商工課長 課題はあるものの、拡大したいと考えている。

町の宣伝活動は

質問 様々な宣伝活動をしているが、どの誰に対して、どのような媒体で、どのくらいの費用をかけて宣伝するという基準はあるか。

観光商工課長 予算編成の中で、その時代のニーズに合った宣伝の方法等を考え実行している。また、多くは観光連盟への委託となっている。

質問 観光連盟への委託がどのくらい効果をあげているのか、しっかりと精査する必要がある。

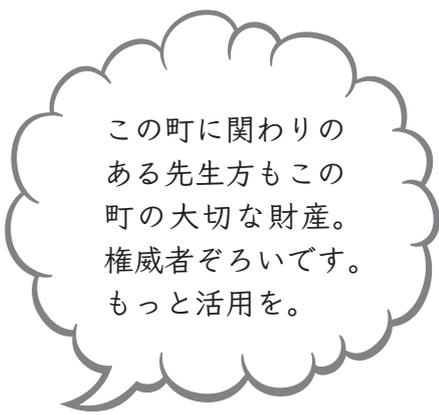
銀座NAGANOは県の施設であり、7分の1しか山ノ内町の宣伝ができない町にとって一番宣伝効果の

ある場所を考え、単独で宣伝を行うことは考えられないか。

観光商工課長 町のアンテナショップ等が設置できれば良いかと思うが、コスト等を考えると県等から提供していただく場所での活動を地道にやって効果をあげていきたい。

質問 冬季オリンピックのアジア開催が続く、誘客のチャンスと考えるが、北京ではどんな施策を考えているか。

観光商工課長 過日、町長が中国へトップセールスに伺った。一人でも多くの方にこちらに来られるような方を検討する。



この町に関わりのある先生方もこの町の大切な財産。権威者ぞろいです。もっと活用を。

小林 央のつぶやき

第6次基本計画策定でSDGsの位置づけは

総務課長一当町に合った考え方を取り込み計画に反映したい

第6次基本計画策定に向けて

【質問】 今世界が目指す先は環境配慮を含む持続可能な社会。町内全学校がESDの取り組みを進める中、他市町村に先駆けてSDGsに取り組み意義は大きい。第6次では核として位置付ける構想は。

【町長】 今は職員が原案づくりを進めている段階。これから多くの町民の声を聴く中でSDGsも含め検討し、将来に夢と自信の持てる計画にしたい。

【質問】 基幹産業として観光面での考え方は。

【観光商工課長】 持続可能な観光地づくりにおいては、ユネスコエコパークが大きなウエイトを占める。今後



長野県がすすめる「信州の環境にやさしい農産物認証制度」の認定証

も活用の推進を図りたい。

【質問】 農業面では産地ブランド化の推進と共に、例えば有機農業を含む多様な農業の推進について具体的に踏み込む考えは。

【農林課長】 SDGsの取り組みは世界的な流れであり、化学肥料や農薬によらない

有機農業などは地球規模的にも持続可能な農業につながる。重点的に進めていきたい。

※2 就学援助の実情と対応は

【質問】 就学援助の対象人数と支援内容は。

【教育長】 今年度、小学校は42人、中学校では25人。主に学用品、修学旅行代、給食費など。

【質問】 周知方法は。

【教育長】 教育委員会のホームページや小中学校の懇談会などで説明している。

【質問】 小学校入学予定者についても入学時の出費が大きな負担になっている。対応は。

【教育次長】 当町では入学後の手続きとしているが、前倒しで対応している事例もあると聞く。研究していきたい。

【質問】 29年度要綱改正にともない自治体には入学前の導入を促す通知が出ているはず、是非対応を。

【教育次長】 通知を確認の上、教育事務所とも相談したい。

不登校児童生徒の実情と対応は

【教育次長】 30年度においては小学校児童2名。

【質問】 町内外を問わず施設利用の事例は。

【教育次長】 中間教室利用者が中学生1名。通級指導教室利用者が2名。

【質問】 今回、不登校支援でフリースクールの出席も学校の出席数に加える変更もなされている。仮に民間施設の開設要望があった場合、教育委員会の対応は。

【教育長】 ここで明確な返答はできないが、研究・検討させていただきたい。

その他の質問
○河床木の撤去についてなど



ふせやひろみ 布施谷 裕泉

※1 SDGs：(持続可能な開発目標) 2015年9月の国連サミットで採択された国際目標。貧困の撲滅や環境問題など2030年目での達成目標を17項目定めています。

※2 就学援助：小・中学校に在籍し経済的理由により就学困難な児童・生徒の保護者に支給。なお特別支援学級に入級している児童・生徒の保護者には就学奨励費が支給。

※3 通級指導教室：通常の学級に在籍し比較的軽度の障がいがある児童・生徒に対し特別な指導を行う教室。

有機農業推進は一持続可能な農業につながることで重点的に進めていきたい一何とか扉が開いたかな。

布施谷裕泉のつぶやき

避難所備蓄品の量は

消防課長—3日分は用意している



たかやま ゆういち
高山 祐一

当町初の避難所開設だったが

質問 改善点と今後の取り組みは。

健康福祉課長 文化センター3階ホールについては、板の間にブルーシートを敷いただけのものであったので、クッション性がなく体に負担を感じるようだった。段ボールを活用した簡易ベッドなどの備蓄配備品のある避難所が報道されていた。今後計画的に用意していただければよいと感じた。

質問 災害用の備蓄品倉庫は、どこに何か所か。

消防課長 北部公民館、ふ



台風19号ですべての堰堤が見えるようになった角間川。

れあいセンター、文化センターを含め4か所。

質問 当日支給された物品類は何か。

健康福祉課長 防災倉庫か

ら運び出し、毛布は支給し、食料、水については用意した。

質問 甚大な被害の場合、備蓄量は何日分か。

消防課長 地域防災計画に

基づき、人口の5%、600人分ほど。1日2食分として3日相当以上は備蓄している。

質問 福祉避難所が開設されたが、福祉避難所とは。

危機管理室長 要介護者や

障害者など要配慮者が一定期間滞在でき、相談や支援を受けることができる施設。保健師、看護師、機器がそろっているところ。町には地域福祉センター1か所。

質問 近隣は、野沢温泉村が2、木島平村が4、飯綱

町10、中野市10か所それぞれ指定している。夜間瀬川左岸にも必要でないか。

危機管理室長 条件を考えると、現在は地域福祉センターになるが、北信広域の施設「いで湯の里」も検討

する必要があると感じる。

質問 災害時夜間瀬川、角間川、横湯川に架かる橋の安全確認はどのように行っているのか。

建設水道課長 夜間瀬川の水位が一番心配されたので、建設水道課職員が朝から全員出勤して、道路河川パトロールを行った。特に栄橋付近、角間川と横湯川の合流地点は、目視で確認し災害対策本部に報告しながら連携をとった。

大切なパートナーである

質問 社会福祉協議会に対する認識は。

町長 社会福祉法に基づく

社会福祉の推進を図ることを目的とした、公共性と公益性の高い民間組織であり、町の福祉の充実にとって大切なパートナーである。

質問 社会福祉協議会に対する町の支援は。

町長 介護保険事業の収益率が減少している。次年度から必要に応じ補助金の増額や施設大規模改修の負担軽減を検討する。

その他の質問 ○子育て、子ども支援につ

いて



100年確率、1000年確率といわれる大災害時は知識、経験プラス想像力が大切な

高山祐一のつぶやき

環境問題に取り組むモデルタウンを標榜しては

町長—言うのは簡単 具体化と発信が重要

湯田中温泉公園

【質問】 (仮称) 湯田中温泉公園の範囲は。

【総務課長】 旧社会体育館とプリンスホテルさんが持っている土地(旧社会体育館と大悲殿の間)。

【質問】 桜の名所にする考えは。

【総務課長】 (仮称) 湯田中温泉公園整備研究会の中で、もその辺の可能性は研究していく。

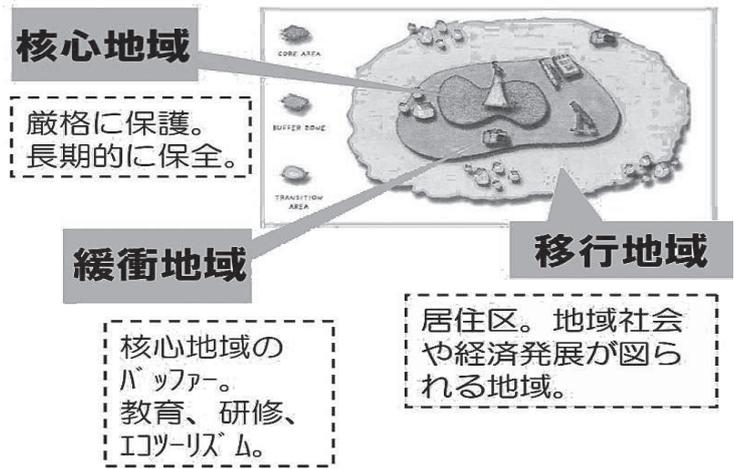
【質問】 一茶の散歩道や旧草津街道など、歴史の活用や桜並木なども今後検討してほしい。

10年後のビジョン

【質問】 人口推計は7つのパターンがあったが、一番悪い推計よりも下回っているのか。

【総務課長】 最悪の予想よりも現在若干良いという状況。
【質問】 あまり良い状況ではないと思われる。特にどこか。

ユネスコパークの地域区分



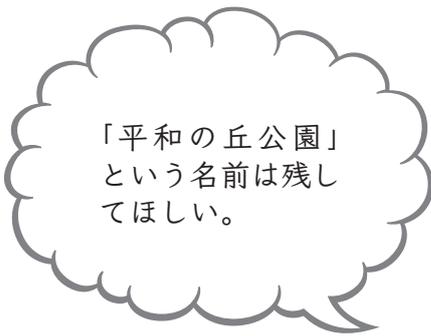
出典:環境省
緩衝地域は保護区と居住区との両面のクッション的役割で、保護と利活用の両面の要素を持っている。



ゆもとはるひこ
湯本 晴彦

※1 (仮称) 湯田中温泉公園整備研究会: 旧社会体育館周辺の土地利用について、隣接する公園も含めた再整備のために調査研究を行う組織。

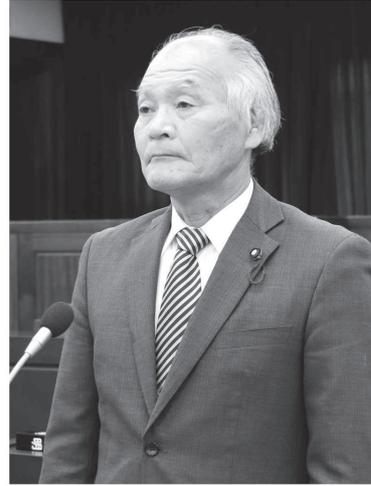
※2 バッファゾーン: 生物多様性の優れた自然環境(核心地域)を保護する目的で設定された人間の生活圏(移行地域)と緩衝する役割をするエリア。緩衝地域。



湯本晴彦のつぶやき

【質問】 移住定住が一番大事だと思ふ。特に若者の移住は最優先。そのために人が住みたくなる理由づくりを考えるべき。例えば日本一四季が美しいなど強いインパクトのキャッチフレーズを掲げていく必要は。
【町長】 行政なので、これをやればすべてオーケーということにはならない。国立公園やユネスコエコパークを大いに売り出してやっていくのがよそにはない山ノ内町の特長。
【質問】 ユネスコエコパークの考えを活用して、地球温暖化防止や持続可能な発展のためのモデルタウンを標榜したらどうか。

【町長】 一言で言えば簡単だが、どうやって具体的に実現するか、着実に住民のものにするか、そして発信していくかが極めて重要。
【質問】 ユネスコエコパークの理念の中で、バッファゾーンの緩衝地域の考えがあるが、地獄谷野猿公苑がまさにそれではないか。生物圏と人間社会がお互い上手く活用していて、まさにエコパークらしい存在。有書鳥獣のこともあるので、電気柵もいり、山ノ内らしさとして、緩衝地域の研究・検討をしていくべき。そういう旗印を掲げた方が、移住しようという人が増えるかもしれないし、ふるさと納税にもつながるかもしれない。
【その他の質問】 ○山ノ内町の独自の教育



やまもと いわお
山本 岩雄

※未確認：公開はされていない。次回1月の定例会で承認が得られれば公開するようにしていく。

インフラ（上水道）整備状況は

建設水道課長—一部老朽化しているところもあるが、計画的に対応している

【質問】 現在の上下水道の老朽化の程度は。

建設水道課長 管路は、下水道・農業集落排水事業等に併せて布設替え工事を実施。事故は大幅に減少するも、更新が進んでいない管路もあり、計画的に対応していく。

【質問】 教育委員会の定例会されているのか、その議事録は公開されているか。

教育次長 定例会は毎月原則公開で開催されている。議事録の公開は未確認です。

台風災害への対応は

【質問】 台風19号について地域の声をとりまとめることはしたのか。

危機管理室長 危機管理室

としてとりまとめはしてないが、いろいろな立場からの声は届いている。参考にしながら今後防災活動に役立てていきたい。

【質問】 穂波温泉地区の避難への対応は。

危機管理室長 全時的な被害が予想された状況で、穂波温泉区だけに限定した対応への協議は行っていない。

【質問】 戸別受信機の交換対応の実態は。

総務課長 交換または予約完了が97%、残り約30台。戸別訪問により呼びかけを行っている。

【質問】 SUGUMAILの力テグリー見直し、災害情報に絞った力テグリーの特設はあるのか。

危機管理室長 防災情報システムは防災行政無線の操作により、戸別受信機とSUGUMAILに自動連携する仕組みとなっており、力テグリーの新設にはメール配信の入力操作を別に行う必要から直ちに変更は難しい。

象山公園の整備は

【質問】 町の都市公園はいくつあるのか。

建設水道課長 夜間瀬川緑地公園・河川公園・みろく公園・渋公園・象山公園の5か所。

【質問】 各公園の整備状況は。

建設水道課長 夜間瀬川緑地公園は、マレットゴルフの皆さんにより草刈りが行われていて、きれいに整備されている。ほかの公園についてはシルバー人材センターへの委託や職員による草刈りを行っている。

象山公園については、貴重な石碑や石造物があり、歴史・文化的な活用など地域と相談・協力しながら適正な維持管理を進めたい。

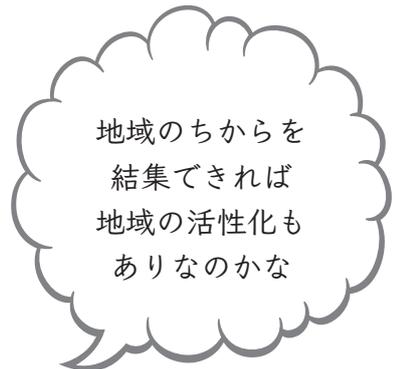
教育大綱は

【質問】 町の教育大綱は山ノ内町教育振興基本計画と考えて良いのか。

教育長 26年の地方教育行政の組織及び運営に関する法律により、山ノ内町の場合は別途教育大綱を策定する必要はないと考えている。



象山公園松枯れの伐採
(推定樹齢 400 年ほど)



山本岩雄のつぶやき

第5次総合計画の達成見込みは

町長一人人口目標は非常に残念な結果となっている

出生人数の減少は危機的

質問 人口は年約2000人の減少である。そのうち自然減は死亡と出生の差に抛るが近年の死亡は約205人、出生は約55人である。特に出生が課題で50人台の危機的状況が続いている。

町長 非常に残念な結果となっている。若い人の結婚・出産につながる働く場の確保が一番と考えるので、観光や農業の振興を十分はかっけていきたい。

質問 本年も10月末で48人と聞いているが、直接の要因としては、県下で最下位クラスの婚姻率が低いことにあるのではないか。力を入れて子育て支援策は重要であるが、出生の増に

年度	男	女
平成28年度	6,344	6,720
平成29年度	6,241	6,585
平成30年度	6,082	6,434

2 住民票記載及び消除 (基準日 平成31年1月1日)

種別	転出入	職	
		出生	死亡
記載	465	57	
消除	570	221	
合計	1,035	278	

3 住民届出件数 (平成30年1月1日から平成30年12月)

種別	転入届 (内特例)	転出届 (内特例)	転居届

30年出生死亡(町概要報告書)

災害の想定は最悪値で

はつながっていない。婚姻率の向上をどうはかるか。

健康福祉課長 婚活事業については、社会福祉協議会に委託している。近隣7市町村の広域化で出会いの場づくりをしているが、今後改善をしていきたい。

質問 自然災害が予想される確率値の1000年確率をどう考えるか。

危機管理室長 平成27年の水防法の改正で想定し得る

最大規模の降雨量をもとに1000年に1度の確率により浸水想定区域を設定するもので、夜間瀬川流域のハザードマップは、長野県が本日午前中に公表した。

質問 1000年確率対応は、インフラ整備による防限の限界を越えるため、危険回避の重要資料となるが

危機管理室長 対象区域を十分確認のうえ住民への周知につとめていきたい。

質問 災害対応の任務分担は

①気象庁は気象情報を
②行政は防災・避難の体制を
③住民は行政の発令を受け行動をとる

ことである。警戒レベル4の中に町が発令する重要な避難勧告と避難指示が一緒に含まれており不都合を感じていないか。

危機管理室長 取りあつかいに難しい部分もあると思われるので、十分検討したい。

質問 各段階の発令に必要な情報はどのように町に入ってくるのか。

危機管理室長 レベル4以上の場合、事前に気象庁から連絡が入る。

質問 報道では千曲川の決壊情報が、国交省から長野市に伝達がなく、後に国交省は自治体に伝える制度はないと答えた、とあるが。

危機管理室長 レベル4・5の場合はJアラートを用いる伝達もあるが課題も感じている。

質問 現地との情報の共有が重要と考えるが。

危機管理室長 相互の情報提供は反省点と考えている。



こばやし かつひこ
小林 克彦

※総合計画：種々の計画の基となり、期間は前・後期で10年間、第5次は令和2年度が最終年度。

赤ちゃんの誕生には、結婚！
なんとかならぬか、結婚！

小林克彦のつぶやき

管外視察報告

学ぶべきもの

総務産業常任委員会

11月20日(水)、21日(木)と県外4か所の視察研修を行いました。

新潟県糸魚川市 フォッサマグナ ミュージアム

糸魚川市は、フォッサマグナ(糸魚川―静岡構造線)の北西側にあり、地球を学べる質の高い地質遺産や歴史・文化遺産があることから、2008年に日本ジオパークに、そして2018年にはユネスコ世界ジオパークに認定されました。フォッサマグナミュージアムは2015年に大規模にリニューアルされた施設で、展示品や動画等でジオパークを知ることができま



ミュージアムでの視察

す。ユネスコエコパークと同様ユネスコのプログラムであり、自然環境と大地(ジオ)という違いはあるものの、地球環境の保護・保全や教育、パークを活用しての地域振興などで共通している点も多く、その活動は参考になりました。

富山県 黒部市役所

有害鳥獣被害はサル、ハクビシン、タヌキ、イノシシ、カラスによるものが広範囲に発生。特に目立つのはイノシシによる水稲、畦用水等への掘り起こし被害であり、30年度で156頭、今年も10月までに226頭の捕獲となっています。サルによる被害は家庭菜園や納屋への侵入によるも



黒部市役所で説明を受ける

のが中心で100頭程度の捕獲です。

対策としてはサルには追いつない払い、サル・イノシシには60kmにわたる電柵の設置、ワナ・銃器での捕獲、また緩衝帯の設置、果樹等の収穫を早めるなど、鳥獣を寄せ付けない方法も併せて行っています。

有害鳥獣の種類も被害も違っていますが、対策に大きな違いはなく、今後とも全国の取り組みを参考にしながら進めていくことが必要であると感じられました。

富山県 南砺市 あひのくら 相倉合掌造り集落

集落は20棟の合掌造り家屋、4棟の茅葺家屋からなり、1995年、岐阜県の白川郷とともにユネスコ世界文化遺産に登録されました。集落には60人が居住し、民宿等を営み、年間およそ10万人の外国人が訪れ、1万人が宿泊しています。

富山市、金沢市、高山市、白川郷と人気のある観光地とつながることも人が集まる大きな要因となっています。山ノ内町も海外からの観光客が増えています。そこに住む人たちのふれあい、新鮮な体験など、彼らが求めるものに対するおもてなしが必要と感じました。

富山県 南砺市役所

南砺市は、2018年版日本「住みたい田舎」ベストランキングでは北陸エリアで総合1位と施策と実績が注目されています。昨年の移住者数が155人と過去最高を更新しましたが、総人口はここ数年1%強の減少が続いています。人口減少対策としては若年層の転出抑制のための婚活支援事業が活発に行われており、他には三世代同居、民間賃貸住宅居住、持ち家への補助金等や、移住セミナーの開催、移住体験



五箇山の観光について視察

ツアー、定住奨励金、定住促進雇用補助金など数多くの施策も行われています。居住者の転出防止の施策が充実していること、移住者への各種支援が手厚いことが一定の効果をあげていると考えられます。地理的な面もあり、同一の施策を採ることが良いとは限りませんが他の自治体の取り組みは参考となりました。

常任委員会

先進事例から

社会文教常任委員会

11月6日(水)、7日(木)
管外視察研修を行いました。

池田町教育委員会

竹内延彦池田町教育長から、池田町の子育て支援の一体的な取り組みについて「信州やまほいく」(信州型自然保育)を中心にお話をしていただきました。

竹内教育長は県職員としてこの「信州やまほいく」を推進された方で、志賀高原保育園も認可された「信州やまほいく」の背景とな

る考え方について理解を深めることができました。

松本市こども部

こども育成課

青木直美こども育成課長

からこども部についてお話ししていただきました。

- ①松本市の子ども施策
- ②学校に行けない子ども達の実態



松本市教育委員会視察

- ③中間教室「はぐルッポ」への間接支援
- ④課題と今後の取り組み

子ども達の居場所「はぐルッポ」

代表の西森さんから取り組みについてお話ししていただきました。

- ①はぐルッポは学校への復帰を目的とはしていない
- ②事例紹介
- ③はぐルッポは何をしてもいい所

この後、はぐルッポにおじゃまして、運営等について現地視察をしました。子ども達の居場所として安心していられるのでしょうか、明るく元気に活動している子ども達の姿が印象に残りました。

岐阜県可児市役所 SUGUMAILの取り組み

防災課、広報課から先駆



「はぐルッポ」の現地視察

SUGUMAILへの活用に向けて、配信カテゴリなど先進事例を紹介していただきました。

外国人児童生徒支援の取り組み

可児市にはフィリピン、ブラジル系の工場労働者移民が多く居住しています。当初、本人のみが居住していましたが、次第に家族を呼び寄せるようになり、その結果、外国人児童生徒数も増加しましたが、言葉が通じない等の理由から不就学者も多く、数々の問題がありました。

そこで、可児市は実態調査を行い、それをもとに外国人児童・生徒学習保障事業要綱を策定して本格的な取り組みを開始し、現在に至っています。

こうした取り組みは、これから山ノ内町のみならず対応していかなければなら

ない課題であり、とても参考になりました。



可児市防災課・広報課の視察

みなさんからの 請願・陳情

受理番号	件名	陳情者	採決結果
陳情第8号	免税軽油の継続を求める陳情書	志賀高原索道協会 協会長 春原 高志	採 択 意見書提出
陳情第9号	妊婦を対象とした歯科健康診査の実施を求める陳情書	長野県保険医協会 会長 宮沢 裕夫 中高歯科医師会 会長 宮本 喜高	採 択
陳情第10号	名税軽油の継続を求める陳情書	北志賀藤田観光株式会社 代表取締役 藤田 健太郎 他3人	みなし採択 (陳情8号と同内容)

議会全員協議会

第13回 (10月8日)

(1)執行機関側からの提出案件

- ①北信保健衛生施設組合議会提案内容について

③中野市・小布施町・山ノ内町議会議員交流研修会の件

第14回 (10月18日)

(1)執行機関側からの提出案件

- ①台風19号に伴う被害対応の件

第18回 (12月13日)

(1)執行機関側からの提出案件

- ①楽ちんバスの自損事故について
- ②想定最大規模の降雨に対する洪水浸水想定区域図の件
- ③その他

第15回 (11月5日)

(1)執行機関側からの提出案件

- ①台風19号被害状況 (中間報告)
- ②奥志賀高原町有地貸付について

(2)議会側からの提出案件

- ①北信広域連合議会について
- ②議会報告会について
- ③今後の日程

第16回 (11月29日)

(1)執行機関側からの提出案件

- ①令和元年人事院勧告に係る条例改正の件

令和2年第1回 (1月9日)

(1)議会側からの提出案件

- ①議会報告会について

第17回 (11月29日)

(1)執行機関側からの提出案件

- ①実施計画 (令和2～4年度) の件
- ②第5次総合計画後期基本計画における数値目標の達成状況について
- ③まち・ひと・しごと創生総合戦略の進行管理及び改訂について
- ④(仮称)すがかわふれあいセンター整備について

(2)議会側からの提出案件

- ①議員の期末手当に関する条例の一部改正の件
- ②議会報告会について

さらなる議会活性化を

議長が議会運営委員会に諮問

9月24日、山本議長より議会運営委員会に「議会の活性化について」の諮問がありました。諮問事項は次のとおりです。

- (1) 議員定数について
- (2) 議員のなり手不足について
- (3) 議員のあり方研究について
- (4) その他議会活性化について

答申期限は令和3年3月末までとなっています。

みんなのひろば

渋温泉に新規開業

(1月12日オープン)

岸田 陽一さん

渋温泉に町の補助金を活用して移住と共に、新規開業された「渋温泉食堂 gonk i」の岸田陽一さんにお話を聞きました。

岸田さんのご経歴は。

私は岡山県の出身で、大阪の調理師専門学校を 卒業後、フランス、大阪 軽井沢とフレンチのレス トランなどで働いた後、こちらへ参りました。



渋温泉で開業したきっかけは。

独立するために、長野県内を探していた時に、渋温泉の街並みがすばらしく、ここで開業してみたいと思い、探したところ、今の物件を知りました。

お店のコンセプトは。

温泉街の街並みを考えると、堅苦しいところと言っよりは、家族連れも来やすいお店がいいと思います。私はフランスのアルザス地方を中心に料理を学んできました。

高級なコース料理と言っよりは、お客様自身で取り分けられる家庭的な料理を出したいと思います。また、地元の食材も欧風なスタイルにして、普段とは違った形で召し上がっていただければと考えております。その意味もあり、レストランではなく、「食堂」と名付けました。

どんな営業形態ですか。

午後3時から6時まで は温泉街を歩くお客様向けに、軽食やおつまみを出しています。午後6時から8時までではディナーの提供、午後8時から10時までではバーのお酒を飲みながら過ごせる場所となっております。今後の状況を見て、営業時間なども変えてみたい検討していきたいと思っています。

町の補助金を使ってみての感想は。

軽井沢や松本などでの補助金に比べると手厚いです。本当に助かりました。また地域の方や役場

の方など、いろいろな方にお手伝いいただき助かりました。できれば、景観づくりの補助金などの併用もできるとありがたいです。

今後、町に望むことはありますか。

街並みがとてもいいので、地獄谷とセットで温泉街をよりアピールすると、賑わいも増すかもしれません。また、外国人の方でも分かるサインなどをもっと増やした方が迷わなくていいのかなと思います。工事中の時でも道を尋ねに入ってもらえる方がおりましたので。

* * *

そんな岸田さんですが、奥様が佐久市のご出身と言っことで、長野にも愛着を持っておられ、温泉街をとてお気に入りださっております。また綿の湯組の一員にもなっていたら、外湯も入ったりするなど、山ノ内町に土着しようとしてくれるのもとてもうれしく思いました。

編集後記

あけましておめでとうございます。

令和元年は異常気象で災害の多い年でしたが、今年は穏やかで実り多い年にと期待しています。

年を重ねてくると特に思うことは、近年やたらに横文字の言葉が多く、なかなか理解できないことばかり。例えば、「サステナブル」「ガバナンス」「コンプライアンス」「ダイバーシティ」などなど拾い上げればきりがなく外来語辞典を片手に悪戦苦闘。議会だよりでは「※」印を付けて意味や解説をするようにつとめていますが、私もなかなかついていけないことが多い日々。

(西 宗亮)

